



経済成長の光と影 ～ギャンブル依存症と社会的孤立

持続可能な開発目標(SDGs:エスディーゼーズ)は、言葉として広がりを見せつつありますが、その目標達成に向けて、環境と社会と経済の調和をとりながら取り組むことが重要だという点は、十分に議論がなされているとはいえない状況です。大阪・関西では、今年6月に「G20」、9月には「ラグビーワールドカップ2019日本大会」、2021年には「ワールドマスターズゲームズ2021関西」が開催されます。また、2025年には、「大阪・関西万博」の開催が決まり、IR・カジノを併せて誘致して経済活性化の相乗効果を高めようという声が強調されていますが、SDGsの理念である「だれひとりとり残さない」を実現しつつ、「経済」と「環境」と「社会」との調和を配慮した議論や計画になっているのでしょうか。行政、企業、NGO/NPOは、SDGsという共通言語をツールとして、議論と対話を積極的に進められているのでしょうか。このような問題意識を共有し、議論のきっかけを生み出すために、今回の学習会を企画しました。「だれひとりとり残さない」社会の実現のためには、さまざまな切口や論点がありますが、今回は、「ギャンブル依存症と社会的孤立の問題」に焦点をあてて、経済成長と環境問題や社会問題の調和を図る方策について、市民セクターの立場から考えたいと思います。

2019年 **2月5日(火)** 19:00(18:30開場)～21:00

市民活動スクエア「CANVAS谷町」会議室 (大阪市中央区谷町2丁目2-20-2F)

★申込先: <https://ws.formzu.net/fgen/S6837188/>

★定員: 30人 (先着順)

★参加費: 1,000円 (主催団体の会員*1は500円) ※当日払いとなります。

*1…大阪ボランティア協会個人会員またはパートナー登録団体、関西NGO協議会加盟団体または個人会員、SDGs市民社会ネットワーク正会員が対象となります。

主催: 社会福祉法人大阪ボランティア協会、特定非営利活動法人関西NGO協議会、一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク
協力: G20大阪市民サミット実行委員会

※この事業は地球環境基金の助成を活用しています。

お申込み



map



<話題提供者>



佐野章二さん（有限会社ビッグイシュー日本共同代表、ビッグイシュー基金理事長）

ギャンブル依存症によって"疑似カジノ化"している日本について、何がどう問題で、市民としてどう自分ごととして考えればよいのか、また市民としての声のあげ方や今後の活動展開についてお話いただきます。



武田かおりさん（NPO法人AMネット 事務局長）

IRやカジノ誘致について、何がどう問題で、市民としてどう自分ごととして考えればよいのか、またアドボカシーとは何かや市民としての声のあげ方についてお話いただきます。



新田英理子さん（一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク 事務局長代行）

佐野さんと武田さんのお話を受けて、全国各地で進められているSDGsの実践と理念の現状を踏まえ、経済と環境と社会の調和をとりながら、SDGs世界の実現に向けて、市民としてどう自分ごととして考えればよいのか、また市民セクターに期待される役割や働きについて論点を整理していただきます。

※司会・進行は、永井美佳（社会福祉法人大阪ボランティア協会 理事・事務局長）が務めます。

申込FAX 06-6809-4902

お名前(ふりがな)

所属団体

メールアドレス

電話番号

参加動機、質問、備考など

会場地図



市民活動スクエア「CANVAS谷町」会議室（大阪市中央区谷町2丁目2-20-2F）

<問い合わせ>

（社福）大阪ボランティア協会（担当：梅田・永井）

TEL 06-6809-4901 Eメール office@osakavol.org